学校番号	411

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	和田康子「硬筆レッスン帳」　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一般教養として様式に法った書を身に付け、また日常生活の中の書の美しさを感じ取り、効果的に表現する力を養います。
・用具、用材の機能を理解し、目的に応じた表現ができるようにします。
・繰り返し練習することで、整った文字の構造を理解していきます。
・日常生活の中で、書を生かすことにより文字や言葉を通じて心を伝える喜びを味わいましょう。

2　学習の到達目標

・小・中学校における書写の学習を基礎として書写能力を伸ばす。
・一般教養として様式に法った書を身に付け、また日常生活の中の書の美しさを感じ取り、効果的に表現する力を養う。
・主体的に取り組み、書に関する感性を高め、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・国語科書写を基本として一般教養に通ずる意義を踏まえる ・書道教室の使い方、書道道具の使い方、授業への取り組み方を学ぶ	a:書写から一般教養の書の意義を大まかに理解する。 c:主体的に書道教室での学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート		活動の様子
	硬筆基本の学習	・ボールペンで書写する場合の楷書・行書・片仮名・平仮名の特徴表現を理解する ・書式を理解し、表現の基礎を踏まえて書く ・漢字の基礎知識を学ぶ	a:書体を理解し、書写に基づく基本的な用筆の技能を身に付けている。 筆順や部首といった漢字の基礎知識を身につけている。 b:文字の大きさや全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に硬筆の基礎や書式の学習活動に取り組もうとしている。	作品	作品	ワークシート 活動の様子
2学期	筆ペンの学習	・筆ペンの基本的な用筆法、運筆法を学ぶ ・筆文字の効用について理解する	a:書写に基づく筆ペンの基本的な用筆・運筆の技能を身につけている。 b:硬筆でも表現の幅を広げられる筆ペンの効果的な使用方法を理解し表現しようとする。 c:筆ペンで書かれた筆文字の良さを主体的に味わおうとする。	作品	作品	ワークシート 活動の様子
	漢字かな交じりの書の学習	・漢字と平仮名の調和をはかりながら、個性あふれる豊かな表現を創作する ・絵はがきやカレンダーの制作により、日常に書を生かす方法を知る ・相互作品鑑賞	a:用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	作品	ワークシート 活動の様子
3学期	手紙の書	・正式な手紙の書式の学習 ・気持ちを伝える内容と文字の書きぶりを考える ・便箋や封筒の使用方法を理解し、書いてみる	a:正式な手紙の書式の意義について理解しようとしている。 b:手紙の目的に合わせた便箋や封筒の選び方、書きぶりを構想し工夫している。 c:主体的に気持ちの表現である手紙という課題に取り組もうとしている。	作品	作品	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態

度